

環境負荷軽減型地域ICTシステム基盤確立事業(委託費分)の公募について

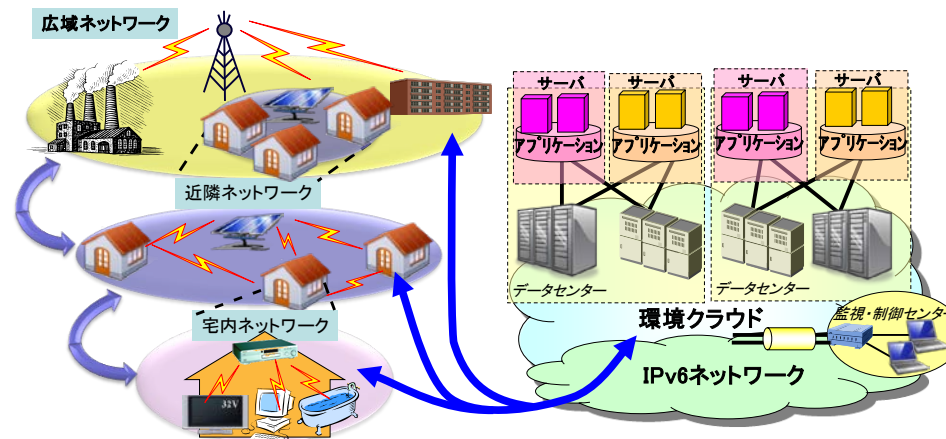
1. 事業主旨【平成21年度第2次補正予算(20億円)】

環境にやさしいまちづくりを支援するため、最先端のICT技術を利用し、各地域特性に合わせたICTシステム基盤を構築・実証する。これによって必要な技術仕様を確立し、地域資源の生産と消費の最適化を推進する。

2. スケジュール(予定)

時期	
2月中旬	提案公募開始
3月中旬	提案公募締切り
3月下旬	外部評価実施 ⇒ 採択案件の決定
(採択通知後)	契約条件の協議、委託契約の締結

3. イメージ図



1. 事業の目的

地域資源(グリーンエネルギー等)の生産と消費の最適化(地産地消)を目指した最適なICTシステムを構築・実証し、地域における最適なネットワークの組合せや、望ましい技術仕様等について総合的に検証。

2. 事業の内容

地域資源(グリーンエネルギー等)の生産と消費の最適化(地産地消)を可能とするためのICTシステムの構築・実証。これによる望ましい技術仕様等の検証。

3. 委託先

民間法人(法律に基づき設立された法人又は非営利団体)、独立行政法人、研究機関(大学、シンクタンク等)、地方自治体等又はそれらからなるコンソーシアム等

4. 採択手続

外部有識者から成る評価会の評価結果を踏まえて、採択案件を決定

<実施体制>

◆事業の趣旨を踏まえた実施体制となっているか。

- ・ ICTシステム基盤の構築・実証に係る関係事業者との間で、共同して技術の検討や仕様策定などを行う体制が整備されているか。
- ・ 実施計画が無理なく、効率的に組まれており、プロジェクト管理が可能となっているか。
- ・ 策定された仕様については、幅広い関係者が活用可能となるよう、知的財産権の取り扱い等に配慮しているか。

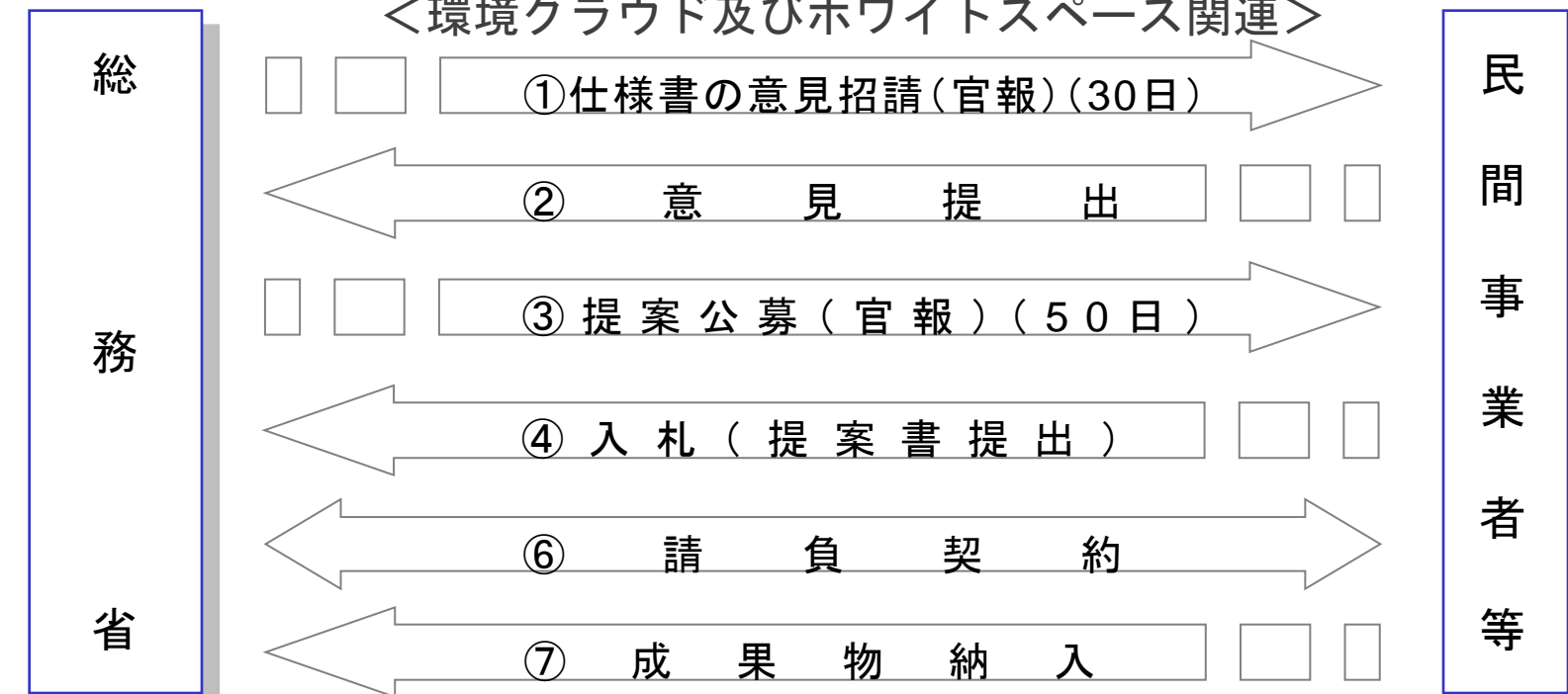
<実施内容>

◆事業の趣旨と目的に沿った事業内容となっているか。

- ・ 環境にやさしいまちづくりを支援するための各地域特性に合わせたICTシステム基盤の構築・実証を目的とした仕様策定となっているか。
- ・ 費用対効果の観点からどれだけ無駄なく、効率的に目的を達成することが可能か。
 - 導入により環境にやさしいまちづくりの実証が可能と見込まれる地域が多いか。
 - 類似の提案が多い場合、内容が最も優れているか又は費用対効果が最も優れているか。
- ・ 提案された開発・実証手法により、提案者が実現したい技術仕様案等を策定することが可能か。
- ・ CO2削減の観点から、削減量が明確に予測され、総合的な効果の検証が行われているか。

環境負荷軽減型地域ICTシステム基盤確立事業実施のスキーム(案)

<環境クラウド及びホワイトスペース関連>



⑤提案評価(総合評価方式)

加算方式

(価格のほか、技術的観点等から評価を加える。)

【評価基準例】

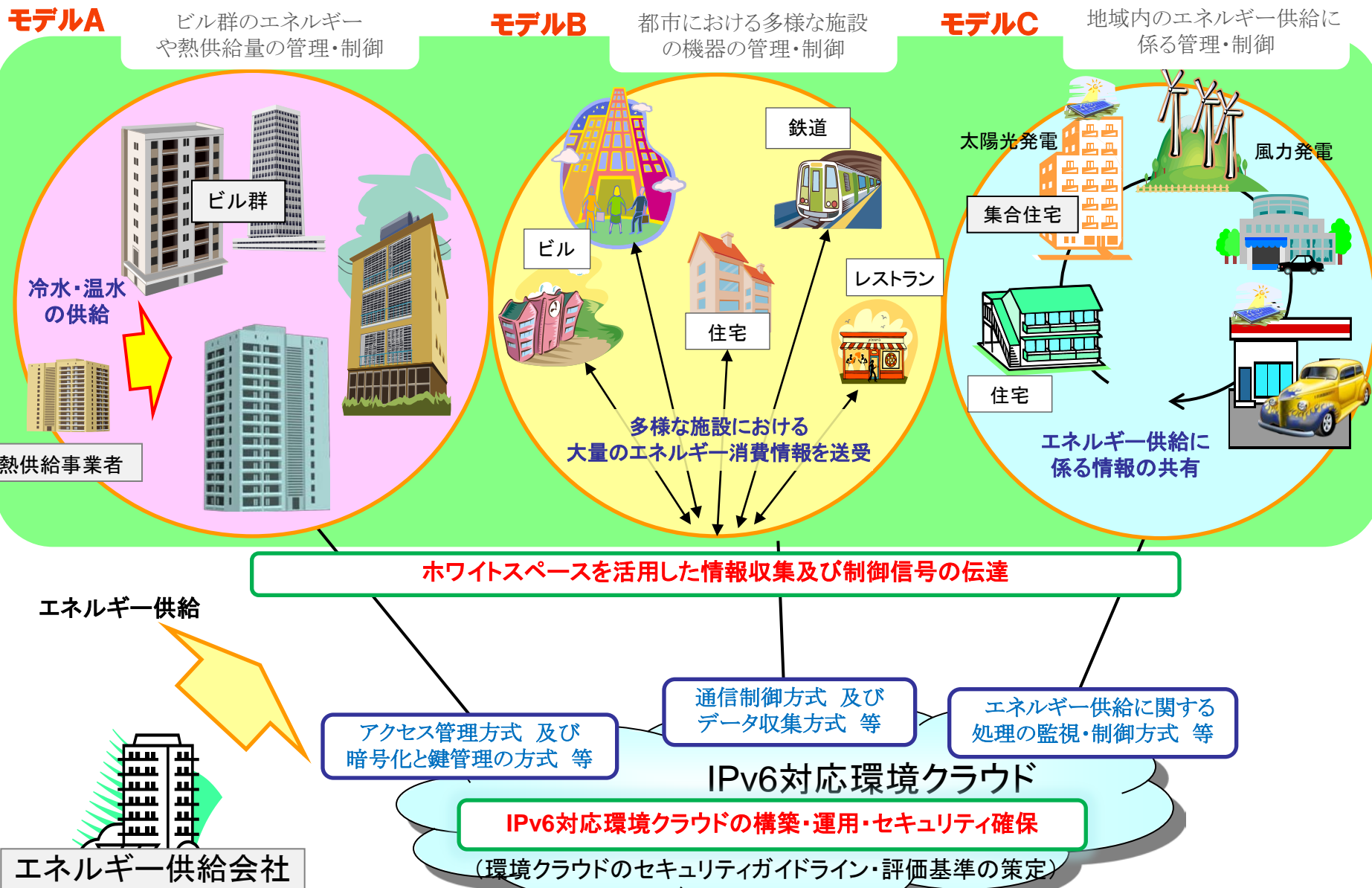
- ・仕様書に示した検討内容に必要な環境が構築できることについて具体的に提案されているか。
- ・仕様書に示した評価項目を検証する実験内容が具体的に提案されているか。等

- ①省は仕様書に対する意見招請を官報により実施(官報掲示期間:30日)
- ②民間事業者等より意見を提出
- ③省は意見を反映した仕様書について官報により調達を実施(官報掲示期間:50日)
- ④民間事業者等より仕様書に対する提案を提出
- ⑤提案書については、外部の有識者による評価を参考にして、総合評価を実施
- ⑥総合評価で選定された者と省の間で請負契約を締結
- ⑦請負先は、実施状況、成果等を取りまとめ、中間報告書、最終報告書を提出

外部有識者

環境負荷軽減型地域ICTシステム基盤確立事業イメージ

<環境クラウド及びホワイトスペース関連>



環境負荷軽減型地域ICTシステム基盤確立事業の課題(案)

<環境クラウド関連>

最先端のIPv6技術及びクラウド技術を活用し、収集した情報の解析及び解析結果に基づき、省エネルギーに資するよう機器や設備の制御を行うシステム(環境クラウド)における、セキュリティの課題等について検証を行い、環境クラウドを実現する際に電気通信事業者等が満たすべきセキュリティ基準の確立を図る(アウトプット:セキュリティガイドライン・評価基準)。

環境クラウドのネットワーク要件はアプリケーションごとに異なる。セキュリティガイドライン・評価基準の策定に当たり、代表的なアプリケーションの実現モデルにおいて検証する必要がある。

課題1:各ビル内の機器、熱供給量の管理・制御 (モデルA)

主な検証項目:アクセス管理方式(データセンター内のエネルギー関連データには複数の事業者等がアクセスするため、事業者毎の適切なアクセス制限レベルを検証)、暗号化と鍵管理の方式

課題2:都市における多様な施設の機器の管理・制御 (モデルB)

主な検証項目:通信制御方式及びデータ収集方式(ネットワークに大量の機器が接続された環境において、多様な事業者がそれぞれ必要最小限のデータを安全に収集・管理することが可能となる、通信制御方式及びデータ収集方式を検証)

課題3:地域内のエネルギー供給に係る管理・制御 (モデルC)

主な検証項目:エネルギー供給に関する処理の監視・制御方式(エネルギー供給に関する情報について、複数のアプリケーションで適切に共有する、監視・制御方式を検証)

請負先候補

民間法人(法律に基づき設立された法人又は非営利団体)、独立行政法人、研究機関(大学、シンクタンク等) 等

ホワイトスペースを活用したエネルギーの地産地消モデルの確立

●課題：地域におけるエネルギーの適切な需給制御を行う**エネルギーの地産地消モデル**を確立。

具体的には、放送用などある目的のために割り当てられているが、地理的条件や技術的条件によって他の目的にも利用可能な周波数（ホワイトスペース）を活用して、エネルギー発生量・消費量情報を掌握し、適切なエネルギーの需給制御を行う**センサーネットワーク**を構築するための技術的条件を確立する。

●請負先候補：民間法人、研究機関（大学、シンクタンク等）等

